



「令和6年度群馬県建設事業協同組合の交通並びに作業安全祈願祭」そして新年度の始めに当たり、一言ご挨拶申し上げます。安全祈願が滞りなく終了しました。令和5年度の事業が無事終了できましたこと、県下一円の作業に携わった皆さんのおかげと心から感謝申し上げます。これから、この1年、どんな小さな事故も起こさないという強い信念のもと、日々の作業の管理をしっかりと行っていくことを改めてお願いいたします。

最近の業界全体を取り巻く状況をお知らせしておこうと思います。先月の建設業協会の理事会の席でも説明しましたが、大きく分けてふたつの動きがあると思っています。ひとつは、能登の地震災害を受けて地域の建設業の災害に対する備えをしっかりと点検し合うということです。もう一つは今月から始まってきた「時間外労働の上限規制」の問題です。労働時間と賃上げをベースにして、建設業の働き方改革をどういった形で示すことが出来るか大事な年度のスタートになったと思っています。

事業協同組合の特色は直接事業に参加できるところが大きな特徴であります。組合としてのメリットを生かしながら効率よい事業を展開していくことが大事です。全国に数多く建設関連の事業協同組合がありますが、ここ群馬の事業協同組合は他県の組合にとって先進事例として参考にする組合に成長しつつあります。組合としての組織を活性化させていくためには、少しずつ組織に変化を与えていくことが大事です。組合独自のホームページも立ち上げ、昨年度は発注者との協議会をはじめ組合の懇親会も開催することが出来ました。社会全体で「賃上げ」の動きが出てきていること受け、今年も組合としても正面から受け止めた対応をしていこうと思っています。

新年度に当たり、どんな小さな事故も起こさないということを確認しあう安全祈願祭も行われました。今年は、新規採用として5名の職員が加わり、総務・清掃班並びにパトロール班で7名の方が昇格され、また、永年勤続で1名の方が表彰となります。昨年度パワハラ研修なども行ってきましたが、組合で働く人たち全員で気持ち良く働けることがそれこそ目に見えるかたちの「働き方改革」の第一歩です。令和6年度、毎日の小さなことから改善を積み上げ、しっかりとした成果を出されることをお願いして理事長のあいさつに代えます。よろしく願いいたします。

令和6年4月1日

群馬県建設事業協同組合
理事長 青 柳 剛